


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年 8月18日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	8番	瀬戸 恵津子 
件名	新たな地域活性化の展開は			
要 旨				
<p>国では、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を提示しそれを実現するため、今後5か年の目標や施策の基本的な方向、具体的な施策を提示するものが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、平成26年12月に提示されました。国として、人口減少問題に本格的に取り組み、地方を主役に捉え各府省庁の縦割りを排し、これまでの地域活性化とは異なり、地域特性に応じた地方創生を展開することを求めています。</p> <p>本町としても平成26年度3月に一般会計補正予算で予算化し、27年度に山北町総合戦略を策定することになっています。</p> <p>人口動向や産業実態等を踏まえ2015～2019年度（5か年）の政策目標・施策を策定するために4つの基本目標が、国から示されており、それらについての町の考え方を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 地方における安定した雇用を創出する。 これは、一番重要な取り組みではありますが、観光産業、農林業の産業化、IT産業、企業の地方移転、工場誘致、大型ショッピングモールの誘致等ありますが、実現可能なもの不可能なものをどのように考えますか。2. 地方への新しいひとの流れをつくる。 これは、定住促進対策のなかで進めていると思いますが、移住希望者の相談体制についてはどうか。3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。 これは、結婚、子育て、教育費を含めての経済的安定、女性の働き方等、若い世代の期待に応じて、何を優先すべきと考えますか。				

4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

これは、中山間地域における「小さな拠点」（多世代交流・多機能型）等をつくり地域の実情に応じたまちづくりや交通ネットワークの推進等、本町ではすでに実施されている事業もありますが、新しい発想を求めるとすると、地域の住民自らが、動き出すことが重要と思いますが、どのように進めていくのか伺います。

総合計画や土地利用計画等とどのようにすり合わせていくのか。

国が府省庁の縦割りを越えて取り組んでいるのに「まち・ひと・しごと創生本部」、「町長戦略課」等を創設して取り組むべきではないか。

以上伺います。